



# 学校だより

平成23年8月25日

8・9月号

江戸川区立大杉小学校  
校長 佐久間 俊幸

2学期が始まり、子供たちの元気な声が校舎に溢れています。「学校は、元気な子供たちが居てこそ学校なんだ！」ということをつくづく感じます。

夏休み、厳しい暑さの中、節電に努めながら過ごした子供たち。大きな怪我や事故なく、今日の始業式を迎えることができました。これも、保護者のみなさま、地域の方の温かい眼差しに見守られたおかげです。ありがとうございました。

この夏休み、子供たちのがんばる姿をたくさん見ることができました。夏休みに入っすぐに実施された水泳教室。(前半7月21日～8月5日、後半8月16日～8月23日)もっと泳げるようになりたいと一生懸命がんばる姿をみせてくれました。7月の下旬に実施された林間学校。日光の大自然の中で、友達と協力して集団生活を送った5年生。楽しい思い出とともに、一回り成長した姿をみせてくれました。また、子供たちの思いを具現化した取り組みもありました。8月2日に、4年生の「ゴミを捨てないで」というポスター看板が、五色池の少し上流に立ちました。これは、荒川中土手探検で活動している4年生のゴミグループの子供たちが、ゴミの不法投棄されている場所を見て、「なんとかならないか!」と考えたことが発端です。荒川下流事務所に相談したところ、4年生の子供たちの思いを受けとめ、ポスター看板の掲示許可をいただきました。子供たちの思いが込められた看板が、不法投棄の抑止になることを願っています。

2学期は、大杉っ子フェスティバルを始め5年生の区水泳大会、6年生の体育大会、6年生の区民まつりへのプラスバンドでのパレード参加、そして展覧会と大きな行事があります。一日一日、やるべきことをしっかりと行い、充実した2学期にして欲しいと願っています。

## 子供を非行化させるコツ教えます

—少年院の実態からみたベスト10—

1. 幼い時から冷たく放りっぱなしにせよ。遊び相手になるとかスキンシップは全く無用。
2. 欲しいと言ったら何でもすぐに買い与えよ。我慢させることは絶対禁物。
3. 子供の間違いや失敗は理由を問わず叱りとばせ。口で言うよりひっぱいたの方がいっそう良い。
4. 子供がどこで何をして遊ぶのが気に入らない。遊び仲間についても全く知る必要はない。
5. 兄弟やよその子と比較して、「お前はバカだ、誰々を見習え!」を連発せよ。
6. 忙しいのに、食卓のだんらんなど無駄。子供の話題や関心など無視すればよい。
7. 子供が善いことや努力をしてもめったにほめるな。むしろ、ごまかしや裏切りなど悪事をうまくやったら必ずほめよ。
8. 子供の前では決して夫婦間の意見を一致させるな。特に父親は難しい問題からうまく逃げよ。
9. お金こそ人生の全てであると身をもって教え込め。宗教や精神生活を軽蔑させよ。
0. 子供の前で常に法律、警察、学校、役所の悪口を言い、社会のきまりや公共機関への敵意を植え付けよ。

もし、以上のすべてを忘れたとしても、次のことだけ心がけるならば、非行化は効率よく進むだろう。「いつも夫婦仲悪く暮らし、憎しみ合い、できれば不貞をはたらき、大人のエゴをむき出しにすること」

—ある少年院の資料より—